

中郷区地域協議会だより

第64号(令和5年度第3号)

地域協議会の活動は上越市ホームページで閲覧できます。



発行日:令和6年3月25日
発行:中郷区地域協議会
編集:地域協議会だより
編集委員会
(中郷区総合事務所)
TEL:0255-74-2411

地域協議会提案 令和6年度地域独自の予算事業にご協力ください

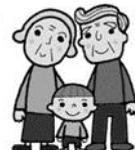
第63号で令和6年度の「地域独自の予算」として2件の事業を提案したことを報告しました。今回は、より詳細な事業内容と私たちの思いをお伝えします。なお、「地域独自の予算事業」は、市議会の議決を経て予算が確定します。

①「(仮称)さとまるバス」の運行による検証事業

運転免許証の返納などにより、移動手段が必要な人の要望等を反映し、地域の助け合い(互助)による新たな移動支援サービスを具体化するための取組

- (仮称)さとまるバスを運行し、移動手段が必要な人の実情をお聞きます。
- 買い物や通院などの日常生活に必要な行先や運行範囲を検証します。
- 運行時刻や車両、受付方法などの運行形態を検証します。

新たな移動支援サービスを利便性の高い移動手段にするために
協力いただける方を募集しています。
移動手段が必要な方、声を聞かせてください。
いつまでも住み続けたい地域づくりを目指しましょう！



②子どもの い～場所開設事業

子どもが気軽に集まり、子ども同士で自由な活動ができる場所を開設し、その結果を検証して、中郷区における子どもの居場所を探るための取組

- 中郷小・中学生を対象とした、子どもだけで過ごせる場所を提供します。
- ・令和6年9月頃から、小学生の下校時間が比較的早い日に公共施設で居場所を開設します。
- ・居場所では、活動団体等が見守りを行い、子ども達が自主的に自由な活動をします。

い～場所での い～思い出と共に、子どもたちが「ずっと大好き中郷！」の気持ちを持ち続けられるように地域ぐるみで取組みましょう！



第5期(R2.4.29~R6.4.28)中郷区地域協議会の活動を振り返って

前進！

中郷区住民アンケートで皆様から頂いた声を具現化することに力を注いできた今期の地域協議会で特に感じたことは、大きな一歩を踏み出したことです。地域協議会が投げかけた問いに中郷区の皆様が声を返し、それを実現するため行政や各団体がそれぞれの役割で協働していく、まさに地域協議会のあるべき姿だと感じました。猛スピードで変わりゆくこの時代に大きな前進を遂げた地域協議会でした。

会長 竹内 靖彦

ずっと住み続けたい中郷を実現するため

地域協議会が複数のチームに分かれて問題解決に向かった一つに、勝馬投票券場外発売所立地関連地域振興基金を活用した事業があります。私は泉縄文公園のリニューアルを担い、東屋や看板の設置が実現しました。新しい東屋を活用いただき、一息つける場所に加えて頂ければと思います。これからも「中郷にずっと住み続けたい」を実現するために協議し続けます。皆さんからのご意見をお聞かせください。共に考えましょう。

副会長 高橋 京子

地域協議会をぜひ傍聴してください。開催日時や場所など詳細は、中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ 地域振興班(☎74-2411)までお問い合わせください。

◀裏面もご覧ください▶

はばたけ 未来へ

勝馬投票券場外発売所立地関連地域振興基金の活用について、「未来の子どもたちがいつまでも住み続けたいまちづくり」をテーマに4つの事業の実施を市に要望し、令和4年度に実現しました。特に夕日ヶ丘は、他には例のない恵まれた環境であり、いつまでも守り続けたいと思います。

委員 荒川 清尊

活発な地域協議会

任期中に新しい市長に変わりました。これまで地域活動支援事業の審査にかけてきた時間がなくなり、自主的審議を中心により活発な充実した活動ができたと思っています。

委員 岡田 龍一

地域と話し合う地域協議会

地域の方との意見交換からそれぞれの課題を知ることで、普段気付かない点が多く自分の認識が深まりました。課題解決に向けて異なる分野・世代の委員の皆さんと意見を交わし、地域のために協議する会に参加させていただき、有難うございました。

委員 竹内 昭彦

誇れる地域協議会

竹内会長を中心に委員全員が、色々な立場から中郷の将来を考え、どうすべきか、どう改善すべきかの意見が活発にあり、事業実施までつなげていく体制は素晴らしい事で、皆様に誇れる地域協議会だと思いました。

委員 宮川 昇藏

いつまでも住み続けたい中郷

中郷区の住民全員対象のアンケートを取ったことで、多くのことが分かりました。「子どもの居場所づくり」「公共交通の整備」を、少しでも前に進めていき、若い人から年を重ねた人まで、中郷に住み続けたいと思っていただけるように、考えていきます。

委員 陸川 昇一

明日へ

全国的に過疎が進み、地域で暮らす人の生活水準や生産機能の維持が難しい傾向にある中、住民福祉の創出を図り、地域資源を生かした魅力的な地域づくりを検討する委員の皆さんの熱い想いに感銘を受けました。これからも「ずっと大好き中郷！」未来へバトンが繋がることを願っています。

委員 漆間 和美

次なるリーダーへ

今期は会長からサポートに回り、4年が過ぎました。何が出来たかなと思います。次へのバトンタッチと考え見守って来たつもりです。次なるリーダーと次なる時代への更なる期待を込め、バトンを託したいと考えておりますので益々のご協力をお願い申し上げます。

委員 高橋 達也

公共交通の充実で人口減少を防ぐ

コロナの影響を受け、様々な事が変わった4年間でした。公共交通がしっかりしている自治体は、人口減少が少ないと考えます。中郷区の公共交通は、どの様なスタイルが好ましいか？皆様の意見を聞かせてください。

委員 松原 功

「ずっと大好き中郷！」をかたちに

子ども達の成長のために実施した、野村忠宏講演会が印象に残りました。この事業は、若者の意見を否定せず、耳を傾け考えてくれる先輩がいることで実現しました。地域協議会の活動を通じて、中郷は年齢を問わず活躍できる風土があることを改めて感じました。

委員 村越 勝彦

子どもたちの夢の実現に向けて

自主的審議を行う中で特に印象的だったのは、柔道オリンピック3連覇の野村忠宏さんの講演会でした。野村さんの幼少期から金メダルを獲得するまでの実体験を聴くことができ、聴きにきた子どもたちの夢の実現や目標設定に大きな影響を与えたと感じます。

委員 陸川 陽一